

Fresh Smile

フレッシュ・スマイル

期待の新星！ 徳中で働くフレッシュなルーキーが、未来のビジョンについて語る！



この仕事に興味を持った理由は、サッカーを続ける中で日々「健康」を意識してきたからです。また、ケガをして病院によくお世話になったので、医療を身近に感じていたことも影響しています。

事務員なので患者さんに対して直接治療をすることはできませんが、自分の業務を通じて病院で働く方々のサポートや新規の案内で患者さんの支えになれるよう頑張りたいです。

趣味はサッカーです。最近始めた徳中のフットサル活動が私の楽しみとなっています。

総務企画課（入職1年目）

浜崎 翔



総務企画課（入職1年目）

阿部 真悠子

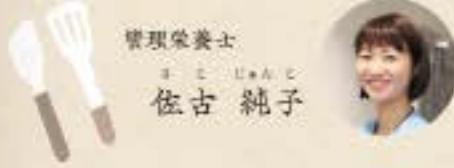
大学入学と同時にコロナ禍を経験しました。家族や友人と支え合う機会が増えたことで「不安や悩みを抱えている人の力になりたい」と思うようになりました。着いたのが医療事務の仕事でした。

総務の仕事は覚えることが多くて大変ですが、職員の方々が安心して働くことができるよう、しっかりとサポートていきたいです。

お気に入りのスポットは「靖海親水公園」です。ここから眺める工場夜景は圧巻！ まばゆい光に包まれた幻想的な風景を楽しむことができます。

大切にしていること：適度に息抜きをする

座右の銘／思うは招く

旬素材で
健康レシピ栄養
管理室が
発信！管理栄養士
佐古 純子

残暑が厳しい季節は、台所に立つ時間を短くしたいものです。そこで今回は、炊飯器で1度に2品作れる簡単メニューをご紹介します。エネルギー源のご飯、タンパク源の鶏むね肉や枝豆と一緒に調理するので、様々な栄養素をバランスよく摂ることができます。水分やカリウムを多く含むキュウリやナスは、熱を持った体を冷やしてくれる働きがあります。さっぱりとした味付けなので、食欲がないときにもオススメです！



前号“Smile新刊特集号”は大変ご好評いただき、広報誌Smileでは初めて増刷する運びとなりました。Smileをお手に取ってください。また新刊工事へご協力いただきありがとうございます。さて、今号より新コーナー『特定看護師』がスタートしました。以前までの『認定看護師』に替わり、特定看護師を順次紹介してまいりますので、ぜひご覧ください。

JCHO徳山中央病院広報誌「Smile」
vol.026 2024年9月9日発行

ご意見・お問い合わせは… JCHO徳山中央病院 総務企画課
TEL: 0834-28-4411 E-mail: main@tokuyama.jcho.go.jp
発行/JCHO徳山中央病院
direction&design/株式会社 しろくまワークス
writing/小野塙枝 photo/Photo Office MOTHER LEAF

ご自由に
お持ち帰り
くださいvol.026
September.2024

診療科情報 P1-2

それ、呼吸器内科が診る病気かも
しれません！

呼吸器内科 山路 義和

Hello! 部署訪問 P3

内視鏡室

新コーナー！ P4

“特定看護師”的ご紹介

医療 Pickup! P5

食中毒にご注意！

ここにもSMILE! P5

エネルギーセンター

P6

おしらせ・CLOSE UP! 健診センター・よろず相談室

表紙のはなし：フレッシュスマイル！ P7

総務企画課 浜崎 翔 総務企画課 阿部 真悠子

旬素材で健康レシピ P7

～炊飯器で作るワンプレート～
枝豆塩昆布ご飯&夏野菜タレの蒸し鶏
管理栄養士 佐古 純子

no. 26
～炊飯器で作るワンプレート～
枝豆塩昆布ご飯&夏野菜タレの蒸し鶏

材料 (4人分)	A
米(研いだ後、30分浸水)…	2合
むき枝豆(冷凍でも可)…	100g
水…	2合分
塩昆布…	10g
鶏むね肉…	2枚
【にんにく・しょうが(チューブ)…	各小さじ1
こしょう…	少々
ごま油…	大さじ1
【タレ】・キュウリ・ナス…	各中2本
・塩…	小さじ1/2
・みょうが…	2個
・大葉…	5枚
・ポン酢…	大さじ2
・ごま…	適量
・トマト…	1個

- ①ビニール袋に鶏むね肉とBの調味料を入れて揉み込む。
- ②Aと①の鶏むね肉をビニール袋から出して炊飯器に入れ、炊飯スイッチを入れる。
- ③キュウリとナスはへたを切り落として縦半分に切って5mmの斜め薄切りにし、塩もみする。しなりりしてきたら手で水気をしぼる。みょうがは薄切り、大葉は千切りにする。
- ④ポールに③を入れ、ポン酢とごまを入れて和える。
- ⑤②が炊き上がったら鶏肉を取り出し、食べやすい大きさに切る。ご飯と鶏肉を皿に盛り、鶏肉の上から④をかけて、1cm角に切ったトマトを彩りよくのせて完成。



それ、

呼吸器内科ってどんな診療科?

呼吸器内科が診る病気かも しれません!



呼吸器内科主任部長
山路 義和



日常動作での
息切れ

「咳」、「痰」、「日常動作での息切れ」で困ることはありますか？
それらは、呼吸器内科で診る病気かもしれません。
当科が対象とする代表的な疾患についてご説明します。

喘息(ぜんそく)

「小児喘息」を大人まで持ち越す方もいらっしゃいますが、約1/3は成人になってから発症する「喘息」です。診断は呼吸機能検査(肺活量の検査)を中心に行います。適切な薬物治療と自己コントロールを継続することで、喘息を寛解(病気の症状がほぼ消失した状態)に持ち込み、健常な人と変わらない生活を送ることができます。

また、咳だけが長く続く「咳喘息」という病気もあります。症状は喘息と似ていますが、喘息特有の息苦しさやのどがゼーゼー・ヒューヒュー鳴るぜん鳴はありません。痰はほとんどなく、乾いた咳が続きます。咳喘息は、風邪などの呼吸器感染症をきっかけに発症することが多い病気です。そのまま放っておくと、気管支や肺が固くなり、喘息へと移行してしまうこともありますので、専門医のもと適切な治療を受けましょう。



おもな症状

- ☑ 咳が出る
- ☑ 呼吸が苦しい
- ☑ のどがヒューヒュー鳴るなど

治療

吸入薬(ステロイド)が基本となります。吸入薬治療でも喘息発作を繰り返すような難治性喘息には、炎症物質にターゲットを絞った生物学的製剤(注射薬)を使用します。

COPD(慢性閉塞性肺疾患)

以前は「慢性気管支炎」や「肺気腫」と呼ばれてきた病気の総称で、別名タバコ肺、肺の生活習慣病ともいわれています。長期間の喫煙などによって、気管支や肺が炎症を起こし、呼吸がしにくくなる病気です。進行すると、咳・痰・息切れがひどくなり、日常生活に支障をきたすようになります。息切れを年齢のせいにして見逃されることが多いため、喫煙歴があり右記の症状がある方は、受診をおおすすめします。



おもな症状

- ☑ 咳が出る
- ☑ 痰がからむ
- ☑ 歩行など日常動作での息切れなど

治療

気管支拡張の吸入薬をメインに、ワクチン接種、栄養療法、リハビリ介入など多岐に渡ります。日常動作時に酸素量が低下する人には、HOT(在宅酸素)を導入します。必要であれば、HOT導入を含めた入院での環境調整を行います。

今年4月より、呼吸器内科の常勤医が4人に増えました！

呼吸器内科とは、のどや肺、気管など、呼吸に関する病気を扱う診療科です。風邪のような症状が現れたときは、一般内科を受診されても構いませんが、「咳」「痰」「息苦しさ」などの症状が2週間以上続く場合や、日常生活に支障をきたしている場合は、呼吸器内科で専門的な検査を受けられることをおすすめします。

呼吸器疾患は、悪性疾患、良性疾患、感染症と診る病気の範囲が広く、急激に症状が出る急性疾患、ゆっくりと進行する慢性疾患など進行具合も人それぞれです。呼吸に関わる症状で気になることがございましたらお気軽にご相談ください。



感染性肺炎

「感染性肺炎」のうち最も多いのは、肺炎球菌やインフルエンザなどによって起きる「細菌性肺炎」で、次にマイコプラズマやクラミジアなどによる「非定型肺炎」が挙げられます。胸部レントゲン検査、喀痰検査を中心に特殊な抗原検査を用いて病原菌に迫ります。

特に、ヒト→ヒトへ空気感染する「肺結核」は、同居する家族に感染することがあるため、早期に診断・治療する必要があります。肺結核は一昔前の病気と思われがちですが、2022年度の日本の新規登録患者数は10,235人であり、まだまだ見遁せない疾患です。また、肺結核に似た「肺非結核性抗酸菌症」は、ヒト→ヒト感染はしませんが、なぜか女性に多く罹患します。



おもな症状

- ☑ 発熱
- ☑ 痰の出る咳など

治療

マイコプラズマ肺炎、レジオネラ肺炎など特殊な検査、特殊な抗生素を使用しないと治療できない疾患もあります。一般的な抗生素で治りにくい肺の感染症もあります。

間質性肺炎

徐々に呼吸不全が進行する病気です。肺の間質という部分が損傷・修復を繰り返すうちに肺が硬くなり(肺の線維化)、肺が縮小し、肺活量が低下します。原因は、自己免疫疾患(リウマチなどの膠原病)、環境要因(カビ、加湿器、羽毛布団)、漢方薬を含めた薬剤性など、多岐に渡るため、胸部CT検査、血液検査、気管支鏡検査などをを行い、原因を追求します。自己免疫疾患の場合は、各診療科と協力しながら診断に結びつけています。治療に呼吸器内科の専門的な知識を必要とする疾患の一つです。

おもな症状

- ☑ 咳が出る
- ☑ 歩行など日常動作での息切れなど

治療

自己免疫的な機序なら免疫抑制剤、それ以外なら抗線維化薬を使用します。

肺癌

初期は無症状のことが多い、胸部レントゲン検査で見つかります。リスク因子はタバコですが、タバコを吸ったことがない人でも肺癌になります。確定診断のために気管支鏡(肺のカメラ)検査します。当科ではエコー付きのカメラを使用することで、診断の精度を上げています。診断がついた後、肺癌の転移の有無を調べます。

おもな症状

- ☑ 無い症状のことが多い

治療

外科・放射線科・放射線治療科のカンファレンスで話し合い、方針を決定します。当科は薬物治療を担当しますが、使用できる薬剤は多岐に渡るため、一人ひとりの病態に合わせて治療を行います。初回治療は入院を必要とするため、薬物の副作用をチェックしながら安心して治療を受けられるような体制を整えています。



どうな
して
お仕事
か?

Hello! 部署訪問

no.26



今回ご紹介するのは…

中央館
2階

“内視鏡室”

内視鏡室は、消化管(食道、胃、十二指腸、小腸、大腸)や胆管、脾管など、消化器全般の検査および治療を行っている部門です。上部内視鏡検査や下部内視鏡検査のほか、内視鏡的逆行性胆管膵管造影(ERCP)、腸閉塞時のイレウス管挿入、胃ろうの造設や交換なども行っています。近年は、胃がん、食道がん、十二指腸がん、大腸がんに対する内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)の件数も増えています。また、緊急内視鏡や術中内視鏡など、手術室やICU、HCUIにおける出張サポートも行っており、呼び出しがかかるといつでも出勤できるように365日24時間待機しています。

内視鏡検査は、先端にカメラを内蔵した細長いスコープを、口や鼻、肛門から挿入し、食道や胃、十二指腸、大腸をモニターに映し出し、直接観察する検査です。時に、息の組織を採取したり止血治療したりすることも可能です。

検査は痛みや苦痛を伴うこともあります。そのため看護師は、患者さんに安心して検査・治療を受けてもらえるように、声かけや対応に十分気を付けています。

近年、食生活の欧米化を受けて、大腸がんは日本人にも増加しており、男女共に死因の上位を占めています。早期の大腸がんは開腹手術をしなくても内視鏡で治療することができます。早期発見のためには、便潜血検査を受けることが大切です。1回でも陽性となり精密検査を勧められた方は、消化器内科で大腸内視鏡検査を受けられてください。

部署データ

・消化器内科医師 7名 ・内視鏡看護師 7名
・非常勤医師 5名



内視鏡室スタッフ

マストアイテム教えてください!



医師
天野 彰吾

いつもゴム手袋をしたり、消毒を繰り返したりしているので、手荒れを保護するハンドクリームは私の必須アイテムです。仕事上、あまり香りの強いハンドクリームは使えませんが、リラックスできるやさしい香りの“ロクシタン”は私のお気に入り。手を守ってくれるだけでなく、忙しく疲れた身体を癒してくれます。



看護師
宮脇 晶子

私が仕事で欠かせないと思っている存在は内視鏡室のスタッフのみんなです。検査などの準備やフォローをしてくれる仲間たちにとても感謝しています。スタッフと円滑なコミュニケーションを取るために、同じ目標に立って指示を出すこと、たまには冗談を言って笑顔が絶えない職場になるように心掛けています。

Nurse Practitioner

特定看護師

チーム医療のキーパーソン、
“特定看護師”についてご紹介！

新!
コーナー
登場



チーム医療のキーパーソンとして

当院には24名の特定行為研修修了者(以下、特定看護師)があります。加えて8名が特定看護師を目指して研修を受講中です。

高齢化が進み、医療の高度化・複雑化が進む中、質が高く安全な医療を提供するためには、医師だけでなく看護師など多職種それぞれが、高い専門性を發揮しながら連携して患者さんを支える「チーム医療」の推進が必要です。そのため、それぞれの医療従事者の業務範囲の見直しがされ、看護師ができる診療の補助の範囲が広がりました。これを「特定行為」といいます。

特定行為は、医師・歯科医師の指示のもと看護師が行う診療の補助で、実践的な理解力、患者力および判断力並びに高度かつ専門的な知識および技能が特に必要とされています。この診療の補助業務は難易度が高いため、看護師としての知識や経験に加えて、医学的な知識や技術を学ぶための特定行為研修制度が創設されました。特定行為はこの特定行為研修の修了を認められた看護師でなければ行なうことはできません。

特定看護師への道のり

当院では、特定行為研修を受講するには、看護師として5年以上の臨床経験が必要です。その上で、厚生労働省で定められた病態生理学、臨床薬理学、フィジカルアセスメント、臨床薬理学、疾病・臨床病態生理学、医療安全学など、250時間以上の共通科目を学びます。その後の特定行為区分の研修では、講義だけではなく、試験、演習、実技試験、実習が含まれた研修を受け、正式な手続きを受けた後、特定看護師として認められます。特

定行為研修を修了した看護師は、看護師としての経験や知識、視点だけではなく、医師の知識や視点を持ち、患者さんの状態やケアをることができます。また、医師の医学的判断を十分に理解し、患者さんへ分かりやすく説明することもできます。

的確な状況判断による 適切な医療の提供

本来、薬の処方や薬の量の調整は医師しかできません。また、医療器具を使って治療を行うことができる医師だけと法律で定められています。しかし、医師・歯科医師があらかじめ作成した手順書のもと、看護師が医療行為を実践することで、患者さんの状態の変化に応じた適切な医療を適切なタイミングで提供することができるようになります。

特定行為には38の診療の補助行為があります。例えば、脱水症状があると判断した場合、以前は医師に報告し、医師の判断と指示を待って点滴をすることになり、時間を要していました。特定看護師が、あらかじめ医師と患者さんの状態について手順書で約束をしている場合は、脱水と判断した場合はすぐに点滴を行えます。また、傷の状態をいつも見ている看護師が、傷の状態を見ながら、器具を使って傷口をきれいにしたり、傷口が治りやすい環境になるように特殊な治療を行ったりすることができます。つまり、患者さんのそばに24時間いる看護師だからこそ、患者さんの状態にいち早く気づき、医師の診察を待たずにタイミングで適切な治療を行うことができるのです。

特定看護師はさまざまな場面での活躍が期待されています。今後も特定看護師の仲間を増やし、いつでもどこでも質が高く、安全な医療の提供を目指していきます。

PICK UP!

医療に
関わる
さまざま
な取り組みを紹介します

身近な食材に潜むリスクを回避!
食中毒にご注意!

また夏の暑さが残るこの時期は、細菌による食中毒が発生しやすくなります。そこで、家庭における食中毒の予防法や病中の病院食における食中毒対策などを、栄養管理室長の田中佳江さんにお聞きしました。



○ 食中毒を引き起こす原因は?

食中毒の原因となる代表的なものは、腸管出血性大腸菌(O-157,O-111)やカンピロバクター、サルモネラ属菌、黄色ブドウ球菌、エンドシルビウス(アニサキス)などです。

食中毒を引き起こす細菌の多くは、室温で活性に増殖し始め、人の体温ぐらいの温度で増殖するスピードが最も速くなります。体の中に侵入した細菌は、下痢や嘔吐などの症状を引き起こし、時には命に関わることもあります。

○ 加熱しても消えない菌は?

食中毒菌の多くは、75°C以上1分間の加熱で死滅しますが(ノロウイルスは85°C以上1分間)、エンドシルビウス菌、セレウス菌、ボツリヌス菌など、加熱しても死滅しない細菌も存在します。

○ 食中毒を予防するためには?

食中毒を予防するためには、①細菌やウイルスを食べ物に「つけてない」、②食べ物に付着した細菌を「増やさない」、③食べ物や調理器具に付着した細菌やウイルスを「やっつける」ことが大切です。細菌やウイルスは目には見えません。様々な食材や手に付着しているものと考えましょう。

<食中毒を予防するポイント>

- 1) 調理の際は、爪を短く切り、時計や指輪は外して、指の間や爪の中まで石けんを使って正しい方法で洗いましょう。
- 2) 食器用のスポンジやふきん、シンク、まな板などは、熱湯消毒するなどして、常に衛生的に使用できるようにします。
- 3) 買い物の際は消費期限を確認し、肉や魚などの生鮮食品や冷凍食品は最後にカゴに入れます。エコパックは清潔に保ち、冷蔵・冷凍品と温かいものを区別したり、食品と日用品を分けて入れることで衛生的に使用しましょう。



ここにも
スマイル
[中央館 8階]
エネルギー
センター



周南医療圏の災害拠点病院として備えも充実!

停電時でも医療機能を維持するためにディーゼル式の自家発電設備を完備し、断水や流通がストップした場合に備えて飲料水や食料、医薬品を3日分備蓄しています。さらに、災害時におけるトイレの問題にも対応できるよう、来年の中央館完成時には災害用マンホールトイレも駐車場に設置される予定です。これらの機能を維持するため、エネルギーセンターでは24時間体制で設備の監視とメンテナンスを行い、万が一の事態に備えています。

おしらせ

小阪マリ子前看護部長 瑞宝双光章叙勲

令和6年春の叙勲受章者が4月19日の開議で決定され、当院小阪マリ子前看護部長が瑞宝双光章を受章しました。本勲章は、公務等に長年にわたり従事し、成績を上げた者に授与されます。小阪前看護部長は、昭和57年に当院に入職、平成26年から9年間看護部長として医療に貢献しました。現在は退任を経て、健診管理センターで予防保健活動に取り組んでいます。



能登半島地震 災害支援活動報告

本年1月に発生した能登半島地震において、当院の職員(医師1名、看護師3名、薬剤師3名、診療放射線技師1名、ボイラー技士1名)が、被災した病院や高齢者施設等に赴き、災害支援活動を行いました。おもな活動内容は、高齢者施設の支援手伝い、病院や仮設診療所における調剤業務、避難所で感染症を発症している被災者の看護業務などです。

当院は、災害急性期に活動できる機動性を持ったトレーニングを受けた医療チームを持ち、専門的な訓練を行っています。今後も訓練の受講、支援要請に対応できるような環境の整備等、災害時に少しでも被災地の力になれるよう努めます。



初診受付・再来受付機などの場所が変わりました

今まで西館総合ロビーにあった初診受付・再来受付機・保険証確認窓口、また、西館1Fにてご案内しておりました地域連携室・医療相談室・入院支援センター・栄養相談室が記載の場所に移動いたしました。なお、東館にあった当院附属介護老人保健施設は6月をもって閉設いたしました。



CLOSE UP! 健診センター/

腹部超音波検査って (腹部エコー) どんな検査?



健診センター長
内田 正志

超音波検査とは、体の表面に当たる探触子(プローブ)から超音波を発信し、臟器や血管からの反射波の違いを画像化して、いろんな臓器の異常の有無(腫瘍や結石など)を調べる検査です。被ばくもなく、痛みもありません。

日常よく耳にする『脂肪肝』の評価も行うことができます。『脂肪肝』は肝臓に脂肪が沈着した状態で、軽度・中等度・高度に分類されます。当センターで昨年度に脂肪肝を指摘された方は2,850人で、全体の44%に当たります。脂肪肝を指摘された方は過体重(BMI25以上)のことが多いので、生活習慣(食事と運動)を改善し、体重減量を図りましょう。



脂肪肝のエコー
写真。肝臓は白く映り、
腎臓は黒とコントラスト
が生じている
文・画像 臨床検査技師

0834-28-4411
(受付/10:00~16:00)

医療の
ヤモノにお答え!
第26回

よろず
相談室

問 「自宅で受けられるサービス」には どんなものがあるの?

ホームヘルパーによる身体介護や生活援助が受けられる訪問介護、看護師が病状の観察や療養上のケアを行う訪問看護、リハビリ専門職がリハビリテーションを行う訪問リハビリがあります。その他、医師・歯科医師・薬剤師などが訪問し、療養上の管理や指導を行うこともあります。

地域のみなさまと当院をつなぐ地域医療の窓口

地域連携室・医療相談室

退院・転院支援や、活用できる社会制度の情報提供、患者さんやご家族のご心配事など、誰に相談していいかわからなくて困っていますか? どんなことでもかまいません。まずはお気軽にご相談ください。

お電話
でも
OK!
0834-
28-4411

